

きょうのテーマ

「大恐竜展」でびっくり!? 最強生物

ニュース



こども記者が取材



大迫方のディアプロケラトプスのロボット(ロボットには触れられません)

東北歴史博物館(多賀城市)で開催中の「ジュラシック大恐竜展」(東

恐竜は人類誕生より

北歴史博物館、河北新報社など主催)を見てきた人はいるかな? 名取市のゆりが丘小6年布宮更咲さん(12)、3年礼仁君(9)のきょうだいがこども記者になり、かほピヨと一緒に取材してきたよ。

みんな思い出

みんな動こう

ロボット、標本も大迫力

もずつと昔の約2億3000万年前に地球上に現れ、6600万年前に絶滅するまで最強の生き物として栄えました。大恐竜展は「恐竜研究室」「恐竜の森」「恐竜ハンターテント」の3ゾーンで構成されます。化石や標本、ロボットを間近に見学でき、楽しみながら恐竜の生態や歴史を知ることが出来ます。



取材は、博物館学芸員の山口貴久さん(30)の案内で、化石や模型を通して恐竜を学べる「恐竜研究室」からスタート。アンモナイトや三葉虫、ドームのような形の石頭が特徴の草食恐竜パキケファロサウルスの頭骨の化石などが展示され、一部は触れられます。大迫力でこども記者を迎えたのが、全長12メートルの大型肉食恐竜ティラノサウルスの全身骨格標本。アメリカで発掘された化石は頭などがきれいな状態で残っていて、全身が見事に復元されま

した。見上げるほどの大きさ、今にも襲いかかってきそうな口に圧倒されます。



「恐竜の森」では本物そっくりの恐竜ロボットが、夜の森で次々に姿を見せます。「悪魔の角を持つ顔」という意味の名前の草食恐竜ディアプロケラトプスは、大きな角と襟(フリル)が特徴。動く目で「ギョリ」とに

らまれ、泣いてしまう子もいたほどでした。首長竜ブラキオサウルスの高さ5メートルのロボットやティラノサウルスの足跡などの展示もあり、恐竜時代にタイムスリップした感覚を味わえます。山口さんは「恐竜は今陸上にいる生物で一番大きい象よりも、はるかに大きい。スケール、姿とも人間とかけ離れているが、はるか昔に確かに存在した生物ということ、展示から五感で感じてほしい」と語ります。

8面に続く

今週の注目ニュース

◇15日(日) 終戦記念日
1945年のこの日、日本がアメリカや中国などと戦った第2次世界大戦が終わったよ。負けた日本は約310万人が犠牲になった。同じ過ちを繰り返さないため、76年たっても戦争を学ぶことは大切なんだ。

みんなの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 化石が語る恐竜の姿

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ